

別紙

I. 事業評価総括表（令和3年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	防災備品整備事業	智頭町	624,949	624,949	

（備考） 事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和3年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称			
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	防災備品整備事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		智頭町			
交付金事業実施場所	智頭勤労者体育センター（智頭町大字智頭1068番地6） 智頭町立智頭中学校（智頭町大字智頭688番地）				
交付金事業の概要	<p>本事業の実施予定箇所である智頭勤労者体育センターと智頭町立智頭中学校（体育館）は智頭町の指定避難所となっており、施設のある智頭地区は智頭町の中心となる地区であり、多くの住民が居住しています。（智頭地区：2,687人、山形地区：878人、那岐地区：964人、土師地区：927人、富沢地区：650人、山郷地区：479人）</p> <p>平成30年度の西日本豪雨では智頭町にも多大な被害が出ており、過去5年間の災害復旧事業費を比較すると、H27が11,320千円、H28が2,032千円、H29が13,696千円、H30が268,769千円、R1が329,424千円と増加傾向にあります。</p> <p>近年ではH30の避難指示が発令された西日本豪雨を始め、大規模な災害が起きており、今後更なる災害対策が必要となります。（西日本豪雨時の避難者：智頭勤労者体育センター 179人、智頭町立智頭中学校 148人、高齢者の避難も有）今回の事業では、避難所体制充実を図る1つの取組として、智頭勤労者体育センターと智頭町立智頭中学校（体育館）に折り畳み式簡易ベッドを計83台導入します。（智頭勤労者体育センター 30台、智頭町立智頭中学校 53台）智頭町勤労者体育センターには現在マットが100枚、簡易ベッドが50台設置、中学校には簡易ベッドが64台設置してあります。それぞれH30の避難者の数には届いていないため、今回の事業で過去最大避難者数に対応できるよう設備を整えます。</p> <p>折り畳み式簡易ベッドの導入により、高齢者を始めとした避難者の睡眠場所の確保や避難者同士のスペースの確保が可能になり、避難所生活の改善、避難者のストレス軽減が期待できます。さらに本交付金事業で整備したことにより、周辺住民の発電事業に対する理解が得られます。</p>				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	第7次智頭町総合計画（平成29年度～令和8年度） 第3部基本計画 6 環境整備 施策5 消防・救急 ■災害対策体制の確立				
事業開始年度	令和3年度	事業終了（予定）年度	令和3年度		
事業期間の設定理由					
	成果目標	成果指標		評価年度	令和3年度
	ベッド導入に関して周辺住民の満足	満足度：やや満足以上の回答をした	成果実績	%	85
			目標値	%	70

交付金事業の成果目標及び成果実績	度70%	者÷回答者数×100	達成度	%	121		
	評価年度の設定理由						
	事業完了後速やかに評価することにより事業改善を図るため						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和3年度	年度	年度	
	簡易ベッドの設置箇所	活動実績	箇所	2			
		活動見込	箇所	2			
		達成度	%	100			
交付金事業の総事業費等	令和3年度	年度	年度	備考			
総事業費	624,949						
交付金充当額	624,949						
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	624,949						
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
防災備品整備		随意契約（少額）		株式会社 昭栄商会 (静岡県浜松市東区植松町)		624,949	
交付金事業の担当課室			智頭町役場 企画課				
交付金事業の評価課室			智頭町役場 企画課				